

大腸 sm 癌の内視鏡的摘除のみによる治療がどこまで可能であるかという問いは、ポリペクトミーが開始されたときからの大きな課題であり、各施設の経験症例が少なかった 1980 年代から計 3 回にわたってアンケート調査によってその答えを出そうという試みがなされた。細かい組織学的所見はさておいて、浸潤した癌の容積が危険因子の 1 つであることには異論はないが、日常診療の場では浸潤の深さでその判定が行われる。初期のころの massive invasion という基準が $sm_1 \sim sm_3$ に 3 分類され、更に sm_1 の深さをどう規定するかという問題が論じられてきた。本号で少しは意見の幅が縮まるかと思われたが、どうもその期待は裏切られたようである。 sm_1 の浸潤値として 500 μm から 2,300 μm の差がみられるし、sm 癌すべてに追加腸切除が必要という考えと sm_2 まで内

視鏡摘除の適応を拡大できるという考えが示されている。これでは意見の幅の縮小どころか、ますますその差が明らかになったとしか言いようがない。これは研究ではなくて臨床の問題であるのに、自己主張ばかりでは読者はますます混乱するばかりであろう。

分子生物学的手法によってこの幅が少しでも縮小できればと期待しているが、これほどどこでも行える検査ではない。 μm の単位で浸潤度を計測してもせいぜい 4~6 μm の切片 (10 枚切ったとしても 40~60 μm) が病変全体を代表しているとは限らない。ではどうすればよいのか？ 自分がその状態だったらどうしてもらいたいか、を基準にして考えるべきだと筆者は考えているが、賢明なる読者諸氏はどのようにお考えであろうか？

胃と腸

6 月号 (第 34 巻・第 7 号) 予 告

発売予定

6 月 25 日

定 価 (本体 2,100 円+税)

主題/AIDS と ATL の消化管病変

序 説	AIDS と ATL の消化管病変の編集にあたって……………	駒込病院・病理	小 池 盛 雄
主 題	AIDS と HIV の感染の臨床—消化管の初期像を中心に……………	東京医大・臨床病理	大石 毅・他
	AIDS の消化管病変の臨床と病理……………	駒込病院・内科	山田 義也・他
	ATL の消化管病変の臨床像……………	済生会川内病院・内科	青崎真一郎・他
	HTLV-1 と消化管病変……………	鹿児島大学・2 病理	蓮井 和久・他
	内視鏡検査における感染予防対策……………	虎の門病院・内視鏡室	稲垣 景司・他
主題症例	消化管病変を契機に発見され、種々の形態の小腸微小病変 を伴った急性型 adult T-cell leukemia (ATL) の 1 例……………	福岡大筑紫病院・消化器科	菊池 陽介・他
	消化管病変を認めた HIV 抗体陽性の 3 症例……………	東京医大・4 内	鶴井 光治・他
	高度な食道カンジダ症を合併した AIDS の 1 例……………	大阪医大・2 内	平田 一郎・他
症例からみた読影と診断の基礎	[Case 45]……………	広島市立安佐市民病院・内科	日高 徹・他
早期胃癌研究会症例	びまん性海綿状血管腫の 1 例……………	社会保険中央総合病院・消化器科	近藤 健司・他
	特異な形態を呈した胃粘膜下異所腺の 1 例……………	宮城県対がん協会がん検診センター	阿部 慎哉・他
症 例	大腸の inverted hyperplastic polyp の 3 例……………	自治医科大・消化器一般外科	富樫 一智・他
	粘膜癌から進行癌への発育進展を観察しえた食道癌の 1 例……………	東海大・外科	千野 修・他

胃 と 腸 (第 34 巻 第 6 号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocyo @ igaku-shoin.co.jp

1999 年 5 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 (本体 2,100 円+税) (配送料 124 円)

1999 年年ぎめ予約購読料 29,890 円

(増刊号 4,600 円を含む 13 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷 (株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1999, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター (03-3401-2382) の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ (インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当) 小松原・天野・小長谷・向山